

課の経営戦略シート

| | |
|-----|------------|
| 作成日 | 平成22年5月18日 |
| 部署 | 税務課 |
| 作成者 | 川田 淳一 |

| | | | | | |
|-----|-----|------|-------|-----|------|
| 課 名 | 税務課 | 課長氏名 | 川田 淳一 | 班の数 | 1室2班 |
|-----|-----|------|-------|-----|------|

1. 課を取り巻く環境と求められる方向性

| | |
|-------------------|---|
| 課を取り巻く環境と求められる方向性 | <p>日本経済の混乱と急激な景気減速状況にある中で、景気は緩やかに持ち直してきているが、失業率は高水準にあるなど依然と厳しい状況にある。企業収益は、大幅な減少が続いているものの、そのテンポは緩やかになってきており、設備投資は下げとまりつつあるが中小企業では依然として厳しい状況が続くと推測されている。また、厳しい雇用情勢が続く中、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に景気の持ち直しが期待されているところである。</p> <p>当町においても景気後退や円高を背景に経済状況の低迷、株価の急落など金融危機の深刻化を受け消費低迷による業績悪化などにより当町の企業を取り巻く環境は厳しい状況が続き法人町民税の税收減少、また、この様な経済情勢の影響を大きく受け雇用情勢が急速に悪化しつつあり、個人所得の伸びの減少により住民税の減収が予想される。また、固定資産税においても、土地の一部については横ばい傾向であったが、この景気低迷により町内全域の地価が下落傾向に転じており、償却資産においても積極的な設備投資を控える企業が大半で固定資産が増収する要素が見当たらない。この様な状況により町税全体で減収が見込まれ、納税者においては益々重税感が強まり納付困難者が増加する恐れが予想される。</p> |
|-------------------|---|

2. 課の展望、目標、使命

| 課の展望 課が目指す町民生活や地域社会の姿 | 納税者を適正に把握し、公平で適正な課税事務を行うことにより、町民から信頼される税務行政が確立されている。一方、納税者は税に対する理解が深まり、自分たちが納めた税金が地域づくりにどのよう役立っているのか関心をもって、納税義務をきちんと果たしている。 | | | | |
|---|---|------------|----------------|------------|--------------------------------------|
| 課の目標 課の展望を数値で具体化したもの。 H22年度末の達成目標 | 指 標 | H21 目標値 | (H21)実 績見込値 | H22 目標値 | 備 考 (指標の説明、目標値の根拠、データ取得方法 等) |
| | 個人住民税の賦課決定割合 | 98.68% | 98.94% | 99% | 所得状況把握者数÷納税義務者数 (17,906人÷18,087人) |
| | 資産税の税額適正割合 | 99.72% | 98.88% | 100% | 税額適正件数÷納税義務者数 (9,766件÷9,776人) |
| | 町税の収納率 | 91.7% | 91.7% | 92% | 町税収納額÷町税調定額 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 課の使命 上記展望を実現するために、課が果たすべき役割 | 公平で適正な評価・課税事務を行い、納税者が課税内容を理解し信頼できる説明責任を果たせるよう、毎年の税制改正を十分に理解する為の職員のスキルアップはもとより、課税の仕組みを十分周知するための方策を構築する。町民の納税意識の高揚のための啓発活動や納付環境の整備に努め、公平で公正な徴税事務を執行するとともに、町税等の収納率向上を図る。 | | | | |

3. 課の経営方針

| | |
|--------------------|---|
| 課の経営方針 (平成22年度) | <p>町民に対し、公平・適正に負担を求める事は税の基本原則である。この原則を貫く事が適正な自主申告と納税の推進につながるものであり、このため、厳正な税務調査や課税資料の早期収集を常に心がけ課税客体捕捉の徹底と適正・迅速な課税に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徹底した申告書の洗い出しによる納税義務者の的確な把握に努める。 ・申告書の再チェックにより未申告者の洗い出しに努め、申告勧奨を積極的に行う。 ・定期的な町内パトロールにより、土地の現況確認や新築や滅失家屋等の的確な把握に努める。 ・納税意識を高める為、パンフレットの配布や広報・ホームページへの情報掲載により税に対する理解を深めていく。 ・租税教育の充実 ・効率的な徴収・滞納整理を進める。 ・適正に不良債権の処理を行う。 ・説明責任を果たせるよう職員の税務能力向上のため、研修会等に積極的に参加をし知識習得に努める。 |
|--------------------|---|

4. 施策の優先度

| 班 名 | 施 策 名 | 特性分類 | 成果の 方向性 | 資源投入の方向性 | | | 優先度 |
|-------|---------------|------|------------|----------|----|------|-----|
| | | | | 事業費 | 人員 | 地域資源 | |
| 資産税班 | 公平で適正な課税事務の推進 | A | | | | | B |
| 住民税班 | | A | | | | | B |
| 収納対策室 | 町税等収納管理の充実 | A | | | | | B |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

5. 平成21年度の課の経営方針及び取り組み結果

| N0 | 平成21年度取り組み | 平成21年度取り組み結果 |
|----|--|--|
| 1 | 納税者に対し、公平で適正に税負担を求める事は税の基本原則であり、この原則に基づき、厳正な税務調査や課税資料の早期収集を常に心がけ課税客体捕捉の徹底と適正・迅速な課税に努め、町民の納税意識の高揚のための啓発活動、公平で公正な徴収事務を執行。 | 納税義務者の的確な把握 申告勧奨を積極的に行う 土地の現況確認・新築や滅失家屋の把握 税に関する広報活動 |
| 2 | <p>町民の納税意識の涵養のため、広報等による啓発活動を積極的に実施し、税制度や納税に関する理解を深める。 納税しやすい環境の整備を図る。</p> <p>効率的な徴収・滞納整理を進めるため、期別整理・単年度整理・形態別整理を踏まえ、イ 納税相談、納税交渉を通して初期滞納者への指導の強化、ロ 滞納者の実態把握・財産調査 ハ 差押による債権の確保及び換価など法的処理を積極的に行う。</p> <p>を達成するため、職員の税務執行能力向上に向けた研修を充実する。</p> <p>収納補助員による訪問徴収、納税の勧奨の継続的強化を図る。 適正な不良債権の処理を行う。</p> | <p>納付された町税等の収納処理を正確に行い、証明書や滞納整理など収納全般業務を円滑に遂行した。</p> <p>町税等収納補助員による臨戸を早期段階で実施したほか、職員による電話催告・納税交渉等を計画的に実施し、年度内収納に努めた。また、過年分の滞納者対策として、実態調査等により滞納者の現状を把握して滞納整理にあたりとともに、悪質な滞納者には預貯金等の財産調査を積極的に行い、可処分財産等を発見したときは速やかに滞納処分を執行し滞納額の縮減を図った。</p> |